

2026 年 2 月 13 日

「GCNJ サミット 2026 -Fairness at work and home-」に参加 ～「公平な働き方」の実現に賛同し、自社アクションを宣言～

住友化学は、一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（以下、GCNJ）が 2026 年 1 月 27 日に国連大学本部ビルで開催した「GCNJ サミット 2026 -Fairness at work and home-」（以下、本サミット）に賛同表明企業として参加しました。また、本サミット参加に先立ち、同年 1 月 14 日付で「GCNJ コレクティブ・アクション 2030 宣言書」に署名しました。

本サミットは、国連グローバル・コンパクトのカントリー・ネットワークである GCNJ が、日本における優先課題を定めた「GCNJ コレクティブ・アクション 2030」の活動の一環として開催されたものです。GCNJ が掲げる「公平な働き方」の実現に賛同し、アクションプラン宣言を行った 41 社の中から 11 社の代表者が登壇し、当社から社長の水戸が出席しました。ラウンドテーブルでは、主に「長時間勤務を評価する文化・バイアスの克服」に関する取り組みを紹介し、他の参加者と活発に議論を交わしました。



GCNJ サミット 2026



代表取締役社長：水戸 信彰

住友化学は、長年にわたり労使協力のもと、育児や介護と仕事を両立できる支援制度の整備や、制度を利用しやすい職場環境づくりを進めてきました。また、男性の育休取得率や女性の管理社員登用に関する数値目標を KPI に設定するなど、男性の育児参画促進ならびに女性活躍推進、そのためのアンコンシャスバイアス（無自覚の思い込み）の払拭にも力を入れています。こうした取り組みを通じて、男女ともに育児や介護をしながら働き続けられるだけでなく、意欲ある従業員がチャレンジできる職場環境づくりを目指しています。

住友化学は、これからも、従業員全員がいきいきと活躍できる職場を目指し、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進に取り組んでまいります。



GCNJ コレクティブ・アクション 2030 宣言書

当社は、一人ひとりの強みや個性が最大限発揮され、誰もが Well-being を実感できる社会にすることを目指し、志を共にするグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン会員企業と協働し、下記の課題を解決することに賛同します。

- I 働く場所・時間に制約のある社員が公平に力を発揮できる環境を整える
- II 性別を問わず、誰もが当事者として家事・育児・介護に参画する環境を整える

上記の課題を解決するために、当社は以下のアクションを実行することを宣言します。

- I ワーク・ライフ・バランスの向上に向け、環境整備を一層進めるとともに、業務の見直しやデジタル技術の積極的な活用により今以上の生産性向上に取り組みます。
- II 無自覚の思い込み(アンコンシャスバイアス)や固定的な役割分担意識をなくします。
また、男性従業員の育児休業ならびに育児関連諸休暇の取得を促進します。

2026 年 1 月 14 日

住友化学株式会社
代表取締役社長
水戸 信彰

以上



コーポレートコミュニケーション部
〒103-6020 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー
TEL:03-5201-0220 Email: sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp



公式 YouTube